

システム運転マニュアル

運転方法

リモコンで水温調整するだけのシンプルな運転方法です。

- ① 主電源スイッチを「ON」にして運転を開始します。
- ② モード切替スイッチで「冷房」「暖房」を設定します。
- ③ 循環水の温度を設定し、室温や体感温度に応じて調整します。

—ご注意点

詳しいリモコンの操作方法については、熱源機メーカーのリモコン取扱説明書をご参照ください。

初期運転時の留意事項

納品時の試運転完了後、熱源機による自動エア抜きが行われ、配管回路や不凍液内に残った細かい空気を外部に排出します。したがって、試運転時に満水であった循環水が、まれに減少し室外機にエラーが表示される場合があります。（リモコン画面に「EL」「LL」の表示）

この場合、循環不凍液の追加が必要となりますので、施工業者またはお客様にて循環水不凍液を注入ください。

※注入方法は納品時に施工業者に必ずご確認ください。

—ご注意点

不凍液注入時の留意事項については、熱源機メーカーの取扱説明書をご参照ください。

設定温度について

当システムの温調整方法は「水温設定」を基本としています。

水温設定は、熱源機からの送水、もしくは受水に対して行う方法があります。

また、「多機能リモコン」を使用する場合、室温設定にすることも可能です。

設定方法によって、それぞれのメリットがありますので、お好みの方法を選択し室温調整をしてください。詳しい設定方法につきましては、熱源機の取扱説明書をご確認ください。

	設定方法	経済性（省エネ性）	効率性
室温調整方法比較	水温設定（送水）	△	◎
	水温設定（受水）	◎	○
	室温設定	△	△

立ち上がりについて

当システムの温調整方法は「水温設定」を基本としています。

室内環境によって差はありますが、平均 30 分～1 時間程度で冷暖房の効果が得られます。

省エネ効果と運転時間について

継続運転によって得られた輻射熱効果を持続させることによって、エネルギーを節約することができます。また、熱源機を長時間省エネモードで運転させることによって運転開始時のエネルギー負

荷を抑制します。当システムの液体冷媒は室内温度が安定すると、自然エネルギーで冷暖房を行うことができます。熱源機は継続運転することを推奨しています。

運転時間については、建物性能や用途によって省エネ効果に大きな差が生じるため、事前に建物を設計した建築士などに相談してください。室内環境によって差はありますが、平均 30 分～1 時間程度で冷暖房の効果が得られます。

一世帯の家庭の場合の運転事例

対象空間	午前3時	午前6時	午前9時	午後0時	午後3時	午後6時	午後9時	
リビング	■	■	■	■	■	■	■	滞在時間の多いリビングのみ 24時間運転
子供部屋	■	■	■		■	■	■	学校行っている間はOFF
脱衣室						■	■	お風呂時間だけON
主寝室	■	■	■				■	就寝時間に合わせてON

二世帯の家庭の場合の運転事例

対象空間	午前3時	午前6時	午前9時	午後0時	午後3時	午後6時	午後9時	
リビング1	■	■	■	■	■	■	■	滞在時間の多いリビングは 24時間運転
リビング2	■	■	■	■	■	■	■	滞在時間の多いリビングは 24時間運転
祖母の部屋	■	■	■	■	■	■	■	祖母のヒートショック対策 のため
浴室・脱衣室	■	■	■	■	■	■	■	祖母のヒートショック対策 のため
廊下・トイレ	■	■	■	■	■	■	■	祖母のヒートショック対策 のため
主寝室	■	■	■				■	主寝室は就寝時のみ運転

タイマー機能

タイマー機能を活用して生活リズムに合わせた運転が可能になります。

タイマー制御は省エネ効果を高めるために非常に効果的ですので、是非ご利用ください。

リモコンの操作方法については、熱源機メーカーのリモコン取扱説明書をご参照ください。

HEMS 対応

HEMS 対応している熱源機をご使用の場合、インターネットを通じてスマートフォンなどで制御が可能です。HEMS 対応の機種や設定方法については、熱源機メーカーの取扱説明書をご参照ください。

株式会社シアークオーポレーション

2021.12.8 改訂